

2016年 トップに聞く

ACKグループ

野崎 秀則社長



15年を振り返って
 中期経営計画の柱の1つである重点化事業に注力し推進した結果、重点化事業の受注量が増えるなど、着実に業績が伸びている。オリエンタルコ

ンサルタンクローバルの分社化により、海外受注も増え、その効果がでてきている。
 昨年、設立10周年を迎えた。次のステップとして、「社会価値創造企業」を打ち出しており、インフラにとどまらず、様々な面で社会に貢献し、新たな価値創造に向けてま

方針と強化方針に基づいて進める。強化方針として打ち出している「個別の強化」「連携の強化」「3軸市場の競争力強化」で成果を挙げていくことが

社会価値創造企業へまい進

「地方創生」「地方創生」の3つの分野を中心に取組み、海外では、インフラ整備のニーズが高いため、技術士取得やグローバル人材を育成する。
 女性の活用では、オリエンタルコンサルタンツが、Smile・3S活動と称した女性の定着と活躍をテーマにした活動を展開している。これをグループに水平展開するため、ACKグループと各社の魅力を学生やキャリア人材に感じてもらえるかが勝負であり、総合ハンズは、リクルートを意識

るため、ACKグループとして、女性ネットワーク活動に取り組んでいる。
 品質確保
 品質確保は、グループ企業の経営を根本から支える非常に重要な取り組みだ。最も重要な対策は、人材育成である。技術・マネジメント力を向上させる対策をOJTとOFF・JTで実施する。これからも様々な形で品質確保のための取り組みを継続していく。

16年の事業展開
 中期経営計画ACKG
 2013で策定した基本

大事だと考えている。4つの個別事業、4つの統合事業で構成される8つの重点化事業を継続的に推進し、国内では、需要

人材確保・育成
 ACKグループと各社

エンタルコンサルタンツが、Smile・3S活動と称した女性の定着と活躍をテーマにした活動を展開している。これをグループに水平展開す